

2018年2月16日
株式会社 ispace

シリーズ A 合計 103.5 億円となる追加調達を実施 東北大学ベンチャーパートナーズから 2 億円を調達

株式会社 ispace（本社：東京都港区、代表取締役：袴田武史、以下、ispace）は、2018年2月16日（金）に、東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役：樋口哲郎）を無限責任組員とする THVP-1 号投資事業有限責任組合を引受先とする第三者割当増資により、2億円の資金調達を実施致しました。本資金調達は 2017年12月実施の株式会社産業革新機構、株式会社日本政策投資銀行、及び民間事業会社等全 12 社の新規株主を引受先とする、総額 101.5 億円の第三者割当増資に続く追加投資であり、ispace によるシリーズ A 累計調達額は 103.5 億円となります。今回の資金調達により、ispace が計画する民間で日本初となる、独自開発の月着陸船による 2019 年末頃の「月周回」と 2020 年末頃の「月面着陸」の 2 つの月探査ミッションの開発を加速させます。

ispace が開発する月面探査ローバーは、東北大学大学院工学研究科吉田和哉教授（ispace 取締役 CTO）のチームによるロボティクスローバーの研究開発技術がベースとなっています。同研究室には世界中から宇宙開発を志す優秀な研究者が集まり、先進的な宇宙ロボティクス研究開発の成果が期待されています。ispace は今後も同大学及び同研究室と協力しつつ、ispace による 2 つの月探査ミッションの成功を目指します。

■株式会社 ispace 代表取締役 袴田武史のコメント

「引き続き多くの皆様からご支援いただき、日本発の民間月面探査の実現に向けて応援をいただいていることを実感しております。今回の資金調達もあわせて、ispace 独自の月探査ミッションを確実に実行し、宇宙資源を軸とした新しい産業構築を実現していきたいと考えています。」



- ispace 月着陸船のコンセプトモデルイメージ -

■ 株式会社 ispace <http://ispace-inc.com/jpn>

「Expand our planet. Expand our future. ~人類の生活圏を宇宙に広げ、持続性のある世界へ~」をビジョンに掲げ、月面資源開発に取り組んでいる宇宙スタートアップ企業。2017年12月に、シリーズ A 国内過去最高額（2017年12月13日時点）となる 101.5 億円の資金調達を実施し、日本初民間開発の月着陸船による「月周回」と「月面着陸」の 2 つのミッションを発表。JAXA、ルクセンブルク政府とも月資源開発で連携。日本、ルクセンブルク、アメリカの 3 拠点で活動。日本から唯一月面探査レースに参加するチーム「HAKUTO」の運営を行っている。

■本件に関するお問合せ先

株式会社 ispace 担当：秋元・森
〒106-0041 東京都港区麻布台 3-1-6
TEL：03-6277-6451 MAIL：pr@ispace-inc.com